ロビーに展示された森清範貫主の「安」の書＝大垣市恵比寿町、大垣信用金庫本店



「安」目の前に

今年の漢字、清水寺貫主の書展示

大垣信金

日本漢字能力検定協会の「今年の漢字」の発表前に、京都・清水寺の森清範貫主(かんす)が揮毫(きごう)した「安」の書が29日、大垣市恵比寿町の大垣信用金庫本店で展示された。

森貫主が、11月に揖斐川町大光寺の大興寺で行われた法話会に訪れた際、参加者が今年の漢字を予想し、最も多かった「安」をその場で揮毫した。大垣信金が毎年春に、同寺で新入職員を対象に座禅研修を開いている縁で、同寺が大垣信金に寄贈した。

15日に発表された今年の漢字は「安」。法話会の予想の的中は、最近では2010年の「絆」、11年の「輪」があるという。

年内の展示は29日限りだが、1月12日に西濃信用金庫との合併で、大垣西濃信用金庫になってから展示を再開。各支店での巡回展示も予定している。(瀬戸覚旨)

無断複製・転載を禁じます